

持続可能な社会に向けて今こそ ESD（持続可能な開発のための教育）を

2020年4月14日

日本 ESD 学会 理事会

新型コロナウイルス（COVID-19）が世界的な拡がりを見せ、終焉の兆しが見えません。14世紀のペスト、19世紀のコレラ、20世紀のスペイン風邪などの流行は人類史上、混乱と停滞を招きましたが、21世紀早々の重症急性呼吸器症候群（SARS）と今回の COVID-19 の流行は持続可能な社会づくりを怠ってきた人類に対する警告と受け止めるべきかもしれません。

ウイルスに国境はありません。ユネスコによれば、世界中で学校の休校措置により 15 億人を超える子どもたちの学習する機会が失われています（<https://en.unesco.org/covid19/educationresponse/globalcoalition>）。教育だけでなく、SDGs の 17 の Goal すべてが COVID-19 によって一時的にでも停滞ないし後退させられる状況になっています。このような時こそ、持続可能な開発のための教育（ESD）の重要性について再認識したいと思います。ESD は持続可能な社会づくりのための課題を一人ひとりが自ら考え、行動する人を育てる教育です。COVID-19 を克服して、誰一人取り残さない、共に生きる持続可能な社会の実現をめざして、ESD を推進することが今こそ求められます。